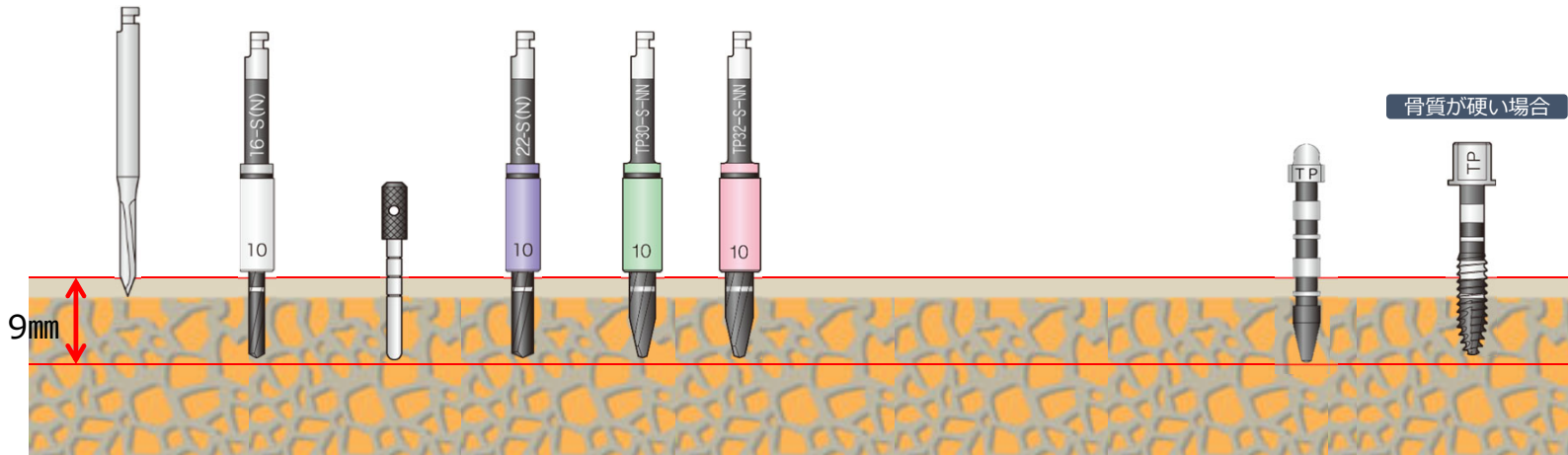


埋入径
φ32

骨内長
8 mm

形状
TP

ストップ
#10
(ドリルス)



MARKING
BUR-M

PILOT
DRL
16-S

TRIAL
PIN
16-S

PILOT
DRL
22-S

30
TP-S

32
TP-S

FINAL DRL

TRIAL
GUIDE
TP-32

TAP
FORMER
TP-32

注水下で800~1,200prm

注水下で800~1,200prm

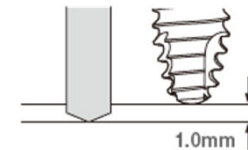
注水下で800~1,200prm

注水下で20prm

骨質が硬い場合

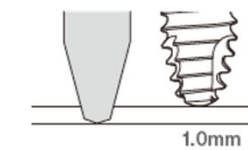
注意

1. 消耗したドリルは、発熱や不正確な窩形成の原因になりますので使用しないでください。
2. パイロットドリルの刃長は、インプラント体よりも1.0mm長く設定されています。



3. 手術中の誤飲を防止するために、市販の誤飲防止用チューブや縫合糸をトライアルピン/ガイド頭部の孔に通して使用してください。デンタルX線撮影による確認を推奨します。

4. ファイナルドリルの刃長は、インプラント体よりも1.0mm長く設定されています。



5. ファイナルドリルは-NNタイプであることを確認してください。



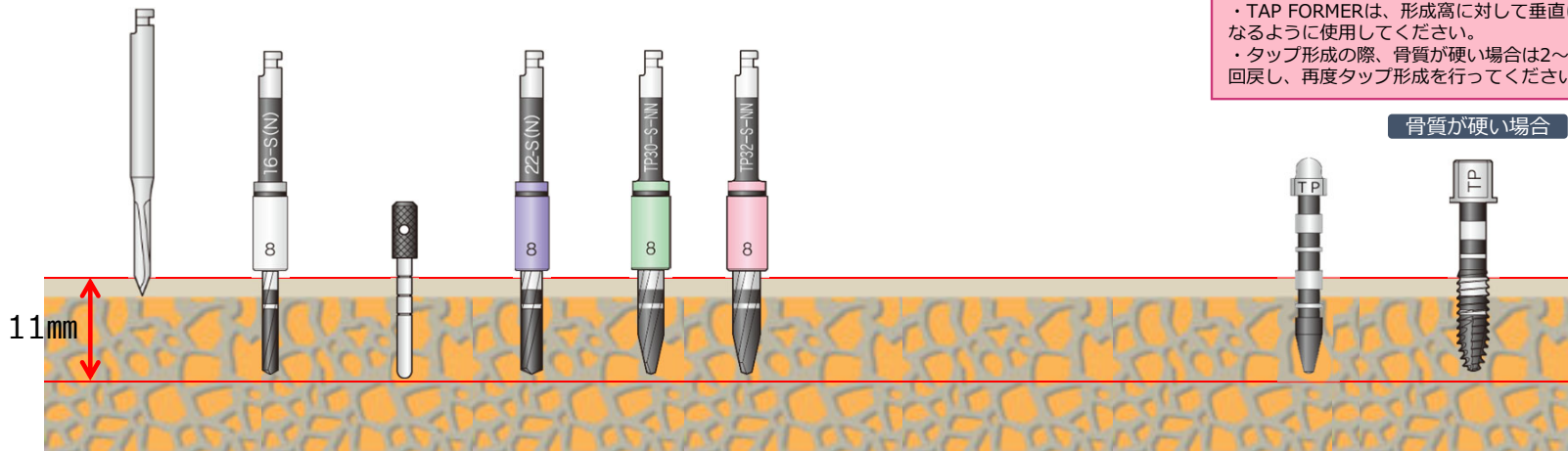
6. 骨質が固い場合は、タップフォーマーを使用してください。

埋入径
φ32

骨内長
10mm

形状
TP

ストップ
#8
(ドリルス)



MARKING
BUR-M

PILOT
DRL
16-S

TRIAL
PIN
16-S

PILOT
DRL
22-S

30
TP-S

32
TP-S

FINAL DRL

TRIAL
GUIDE
TP-32

TAP
FORMER
TP-32

注水下で800~1,200prm

注水下で800~1,200prm

注水下で800~1,200prm

注水下で20prm

骨質が硬い場合

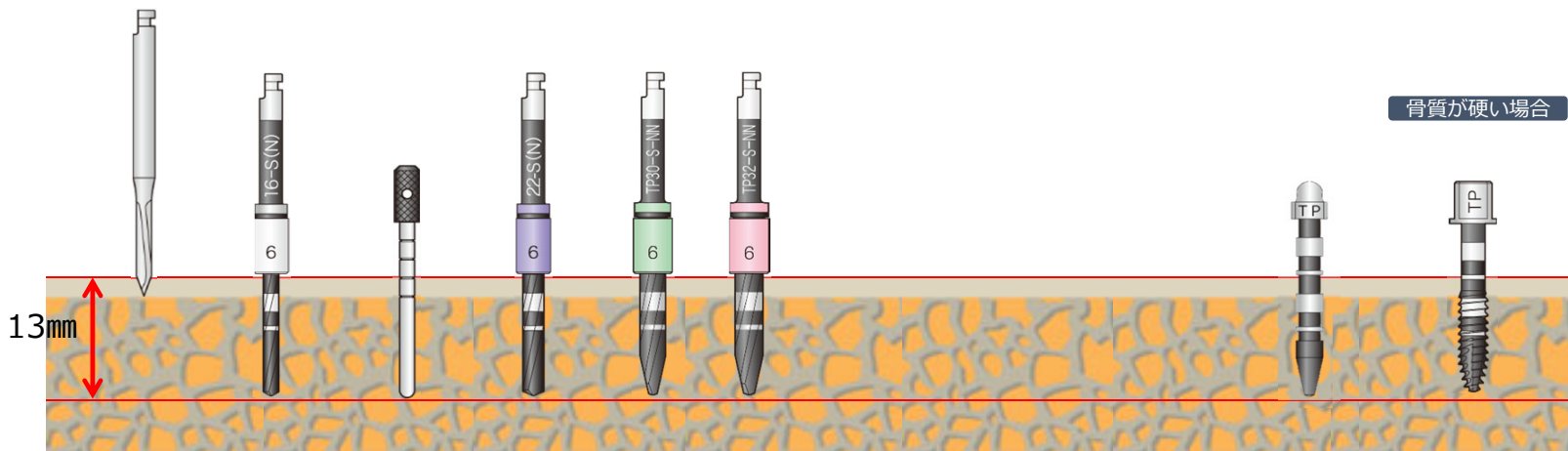
- ・TAP FORMERは、形成窩に対して垂直にるように使用してください。
- ・タップ形成の際、骨質が硬い場合は2~3回戻し、再度タップ形成を行ってください。

埋入径
φ32

骨内長
12mm

形状
TP

ストップ
#6
(ドリルス)



MARKING
BUR-M

注水下で800~1,200prm

PILOT
DRL
16-S

注水下で800~1,200prm

TRIAL
PIN
16-M

PILOT
DRL
22-S

30
TP-S

注水下で800~1,200prm

FINAL DRL

32
TP-S

TRIAL
GUIDE
TP-32

注水下で20prm

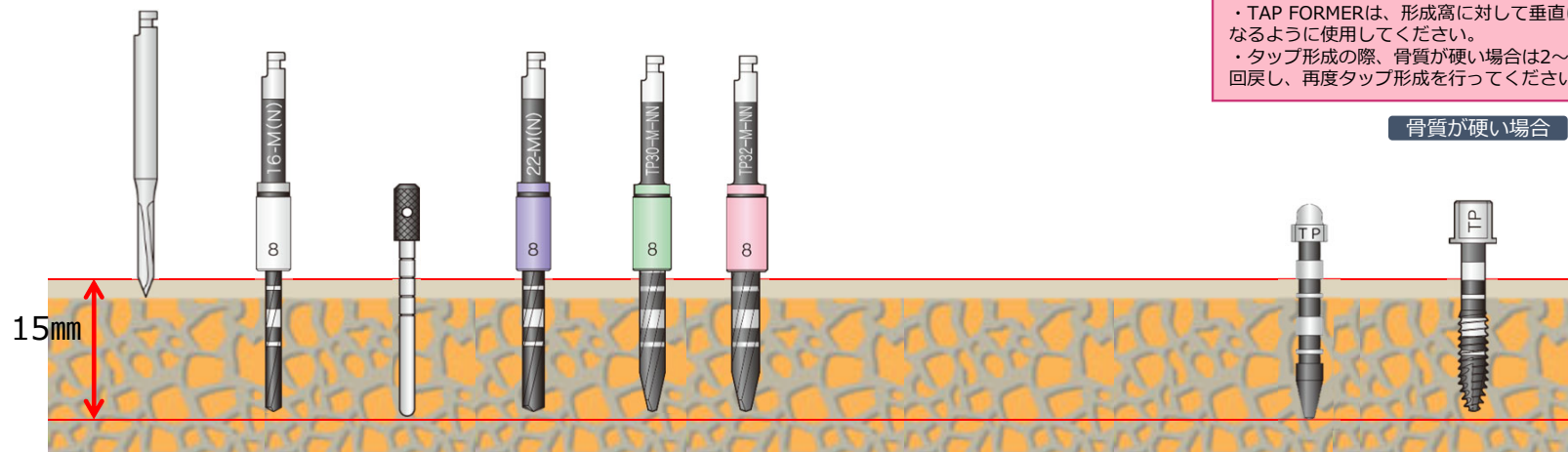
TAP
FORMER
TP-32

埋入径
φ32

骨内長
14mm

形状
TP

ストップ
#8
(ドリルM)



MARKING
BUR-M

注水下で800~1,200prm

PILOT
DRL
16-M

注水下で800~1,200prm

TRIAL
PIN
16-M

PILOT
DRL
22-M

30
TP-M

注水下で800~1,200prm

FINAL DRL

32
TP-M

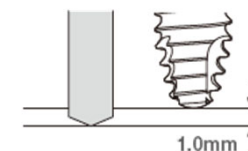
TRIAL
GUIDE
TP-32

注水下で20prm

TAP
FORMER
TP-32

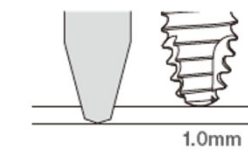
注意

1. 消耗したドリルは、発熱や不正確な高洞形成の原因になりますので使用しないでください。
2. パイロットドリルの刃長は、インプラント体よりも1.0mm長く設定されています。



3. 手術中の誤飲を防止するために、市販の誤飲防止用チューブや縫合糸をトライアルピン/ガイド頭部の孔に通して使用してください。デンタルX線撮影による確認を推奨します。

4. ファイナルドリルの刃長は、インプラント体よりも1.0mm長く設定されています。



5. ファイナルドリルは-NNタイプであることを確認してください。



6. 骨質が固い場合は、タップフォーマーを使用してください。

・TAP FORMERは、形成窩に対して垂直に
なるように使用してください。
・タップ形成の際、骨質が硬い場合は2~3
回戻し、再度タップ形成を行ってください。

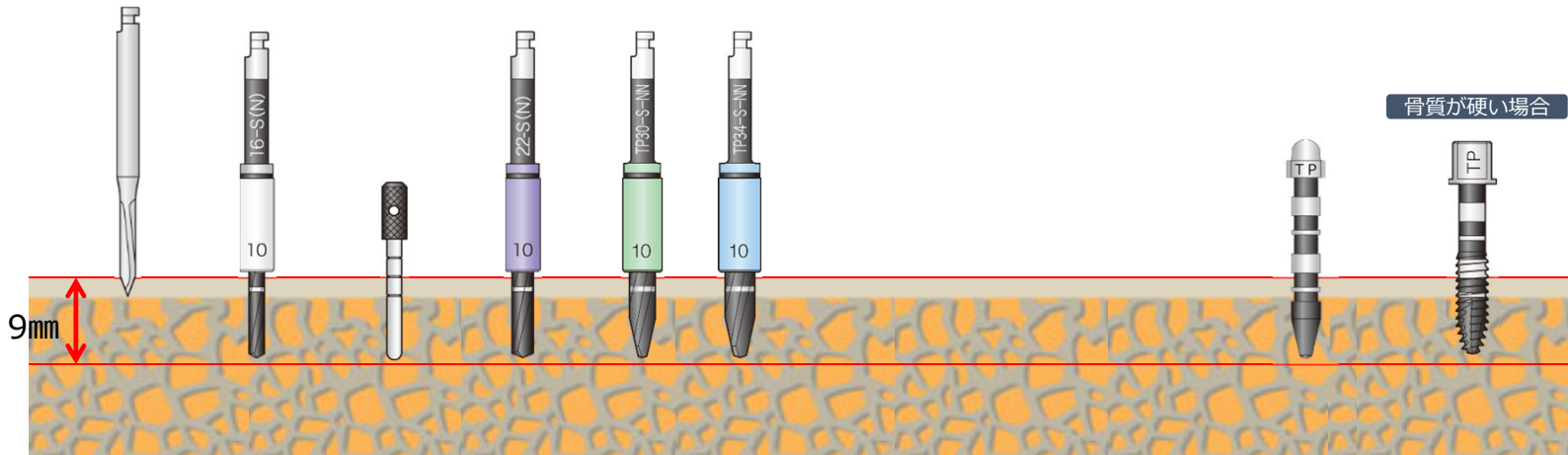
骨質が硬い場合

埋入径
φ34

骨内長
8 mm

形状
TP

ストップ
#10
(ドリルス)



MARKING
BUR-M

PILOT
DRL
16-S

TRIAL
PIN
16-S

PILOT
DRL
22-S

30
TP-S

34
TP-S

FINAL DRL

TRIAL
GUIDE
TP-34

TAP
FORMER
TP-34

注水下で800~1,200prm

注水下で800~1,200prm

注水下で800~1,200prm

注水下で20prm

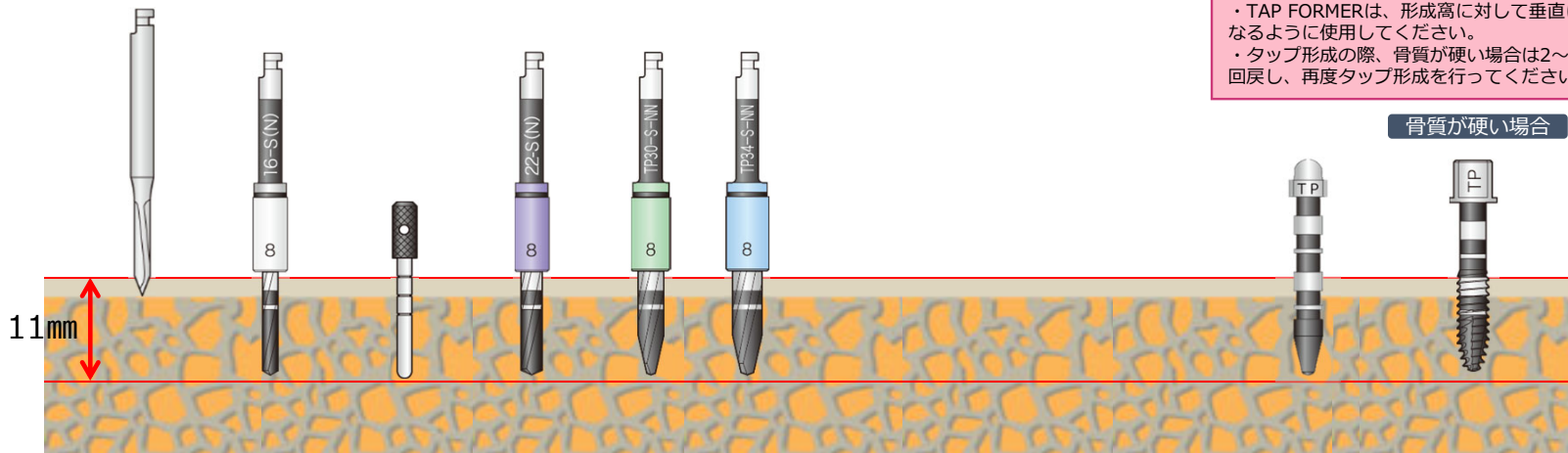
・TAP FORMERは、形成窩に対して垂直に
なるように使用してください。
・タップ形成の際、骨質が硬い場合は2~3
回戻し、再度タップ形成を行ってください。

埋入径
φ34

骨内長
10mm

形状
TP

ストップ
#8
(ドリルス)



MARKING
BUR-M

PILOT
DRL
16-S

TRIAL
PIN
16-S

PILOT
DRL
22-S

30
TP-S

34
TP-S

FINAL DRL

TRIAL
GUIDE
TP-34

TAP
FORMER
TP-34

注水下で800~1,200prm

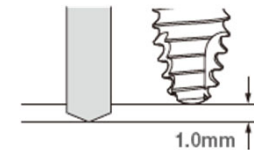
注水下で800~1,200prm

注水下で800~1,200prm

注水下で20prm

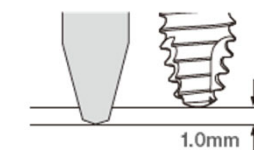
注意

1. 消耗したドリルは、発熱や不正確な高洞形成の原因になりますので使用しないでください。
2. パイロットドリルの刃長は、インプラント体よりも1.0mm長く設定されています。



3. 手術中の誤飲を防止するために、市販の誤飲防止用チューブや縫合糸をトライアルピン/ガイド頭部の孔に通して使用してください。デンタルX線撮影による確認を推奨します。

4. ファイナルドリルの刃長は、インプラント体よりも1.0mm長く設定されています。



5. ファイナルドリルは-NNタイプであることを確認してください。



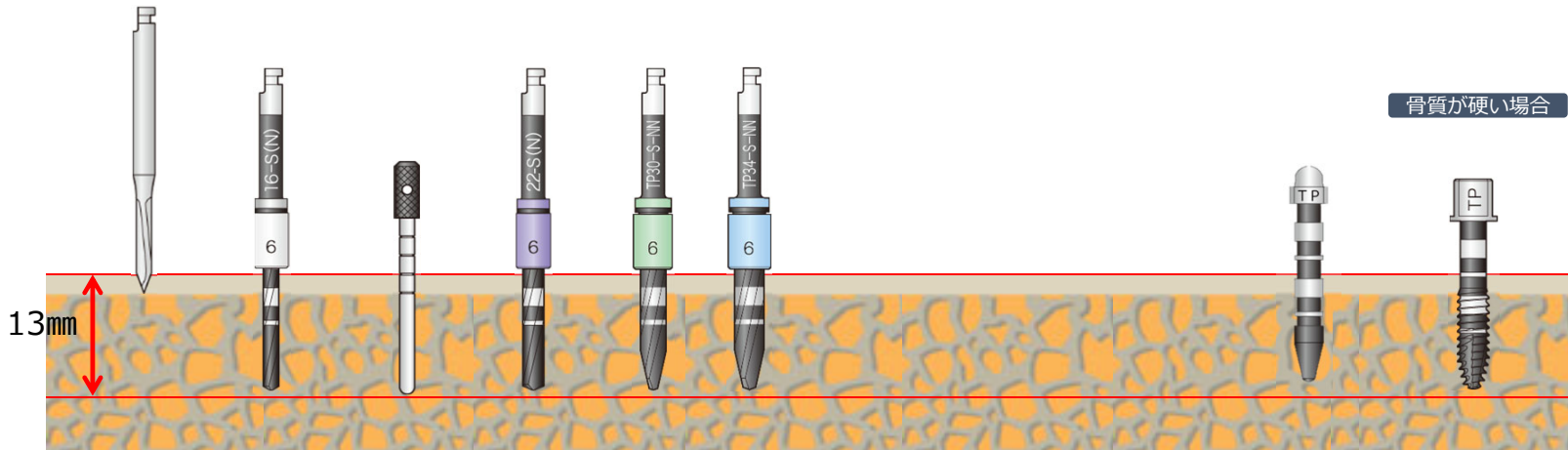
6. 骨質が固い場合は、タップフォーマーを使用してください。

埋入径
φ34

骨内長
12mm

形状
TP

ストップ
#6
(ドリルス)



MARKING
BUR-M

PILOT
DRL
16-S

TRIAL
PIN
16-M

PILOT
DRL
22-S

30
TP-S

34
TP-S

FINAL DRL

TRIAL
GUIDE
TP-34

TAP
FORMER
TP-34

注水下で800~1,200prm

注水下で800~1,200prm

注水下で800~1,200prm

注水下で20prm

・TAP FORMERは、形成窩に対して垂直に
なるように使用してください。
・タップ形成の際、骨質が硬い場合は2~3
回戻し、再度タップ形成を行ってください。

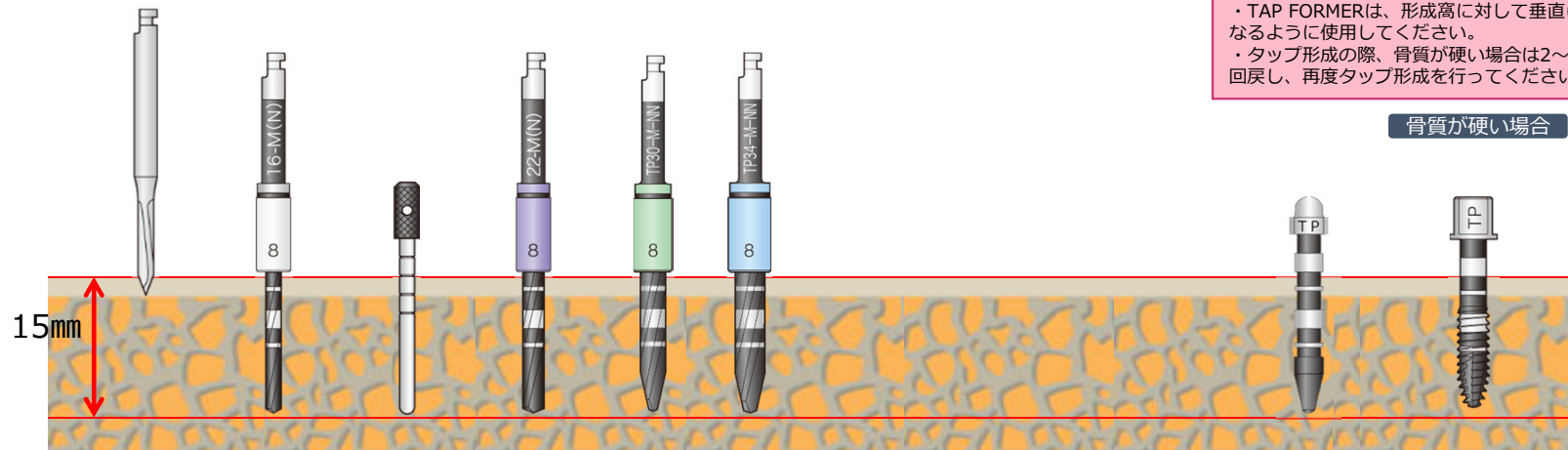
骨質が硬い場合

埋入径
φ34

骨内長
14mm

形状
TP

ストップ
#8
(ドリルM)



MARKING
BUR-M

PILOT
DRL
16-M

TRIAL
PIN
16-M

PILOT
DRL
22-M

30
TP-M

34
TP-M

FINAL DRL

TRIAL
GUIDE
TP-34

TAP
FORMER
TP-34

注水下で800~1,200prm

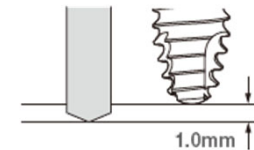
注水下で800~1,200prm

注水下で800~1,200prm

注水下で20prm

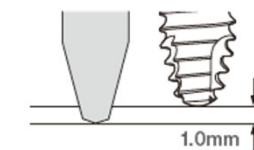
注意

1. 消耗したドリルは、発熱や不正確な高洞形成の原因になりますので使用しないでください。
2. パイロットドリルの刃長は、インプラント体よりも1.0mm長く設定されています。



3. 手術中の誤飲を防止するために、市販の誤飲防止用チューブや縫合糸をトライアルピン/ガイド頭部の孔に通して使用してください。デンタルX線撮影による確認を推奨します。

4. ファイナルドリルの刃長は、インプラント体よりも1.0mm長く設定されています。



5. ファイナルドリルは-NNタイプであることを確認してください。



6. 骨質が固い場合は、タップフォーマーを使用してください。

埋入径
φ37

骨内長
8 mm

形状
TP

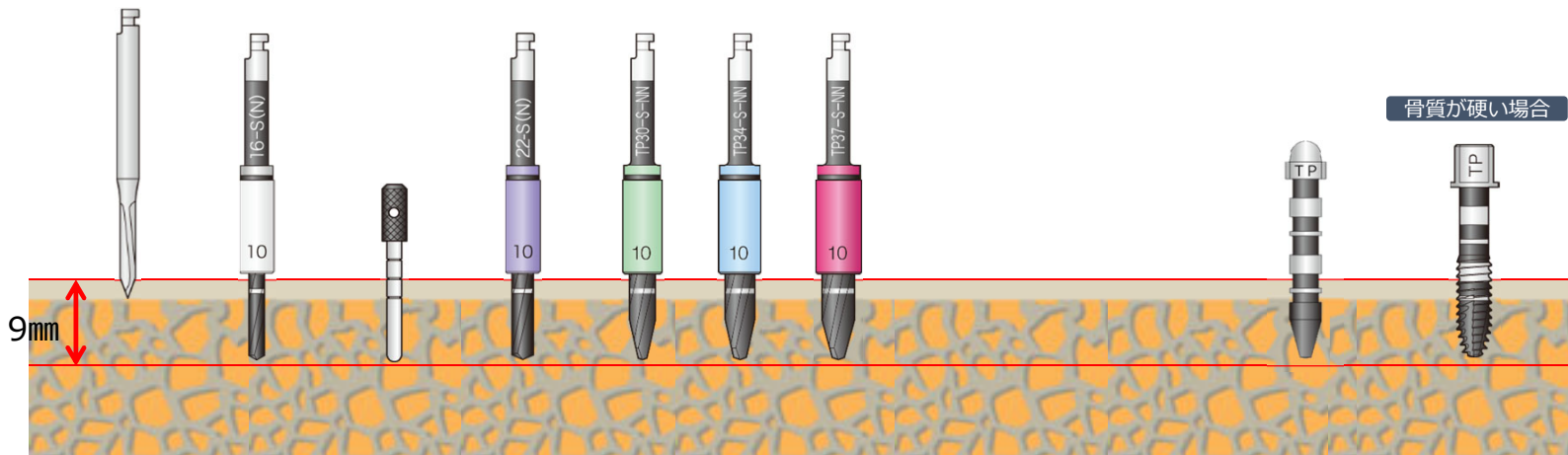
スッパ-
#10
(ドリルS)

埋入径
φ37

骨内長
10mm

形状
TP

スッパ-
#8
(ドリルS)



MARKING
BUR-M

PILOT
DRL
16-S

TRIAL
PIN
16-S

PILOT
DRL
22-S

30
TP-S

34
TP-S

FINAL DRL
37
TP-S

TRIAL
GUIDE
TP-37

TAP
FORMER
TP-37

注水下で800~1,200prm

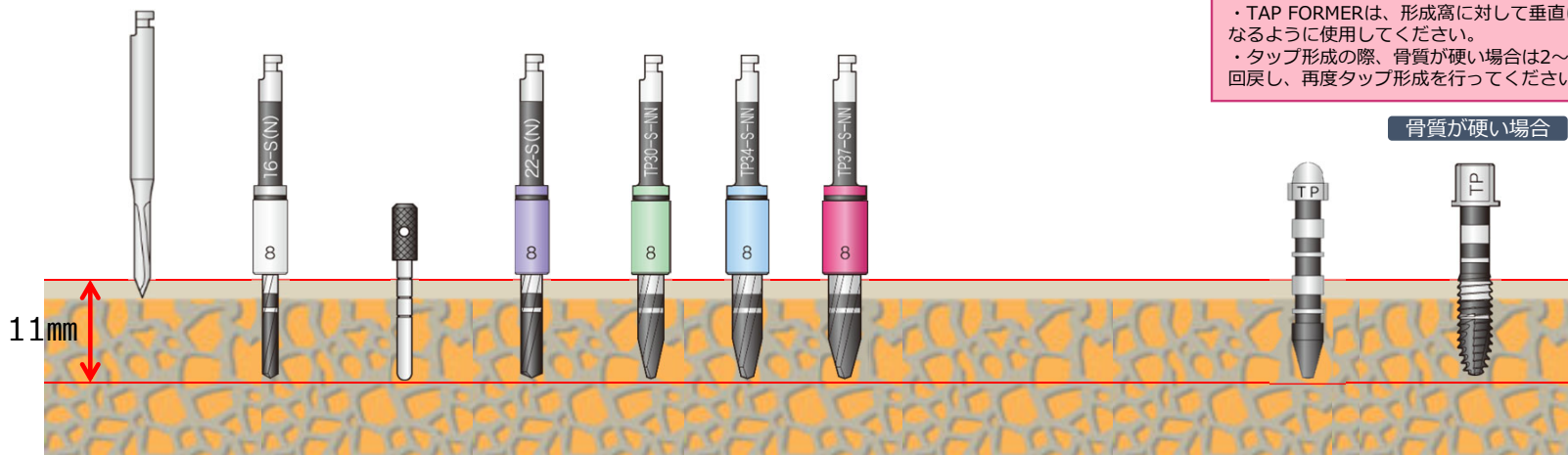
注水下で800~1,200prm

注水下で800~1,200prm

注水下で20prm

骨質が硬い場合

- ・TAP FORMERは、形成窩に対して垂直に
なるように使用してください。
- ・タップ形成の際、骨質が硬い場合は2~3
回戻し、再度タップ形成を行ってください。



MARKING
BUR-M

PILOT
DRL
16-S

TRIAL
PIN
16-S

PILOT
DRL
22-S

30
TP-S

34
TP-S

FINAL DRL
37
TP-S

TRIAL
GUIDE
TP-37

TAP
FORMER
TP-37

注水下で800~1,200prm

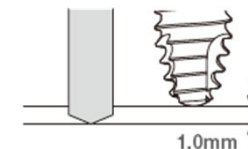
注水下で800~1,200prm

注水下で800~1,200prm

注水下で20prm

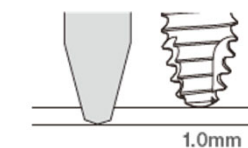
注意

1. 消耗したドリルは、発熱や不正確な高洞形成の原因になりますので使用しないでください。
2. パイロットドリルの刃長は、インプラント体よりも1.0mm長く設定されています。



3. 手術中の誤飲を防止するために、市販の誤飲防止用チューブや縫合糸をトライアルピン/ガイド頭部の孔に通して使用してください。デンタルX線撮影による確認を推奨します。

4. ファイナルドリルの刃長は、インプラント体よりも1.0mm長く設定されています。



5. ファイナルドリルは-NNタイプであることを確認してください。



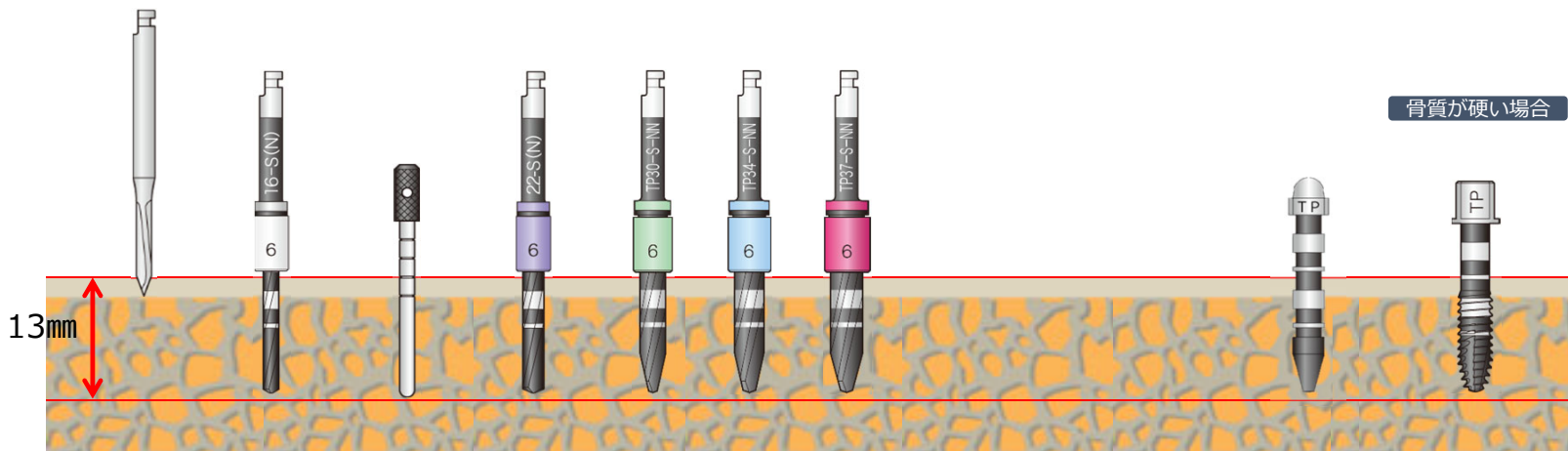
6. 骨質が固い場合は、タップフォーマーを使用してください。

埋入径
φ37

骨内長
12mm

形状
TP

ストップ
#6
(ドリルス)



MARKING
BUR-M

PILOT
DRL
16-S

TRIAL
PIN
16-M

PILOT
DRL
22-S

30
TP-S

34
TP-S

FINAL DRL
37
TP-S

TRIAL
GUIDE
TP-37

TAP
FORMER
TP-37

注水下で800~1,200prm

注水下で800~1,200prm

注水下で800~1,200prm

注水下で20prm

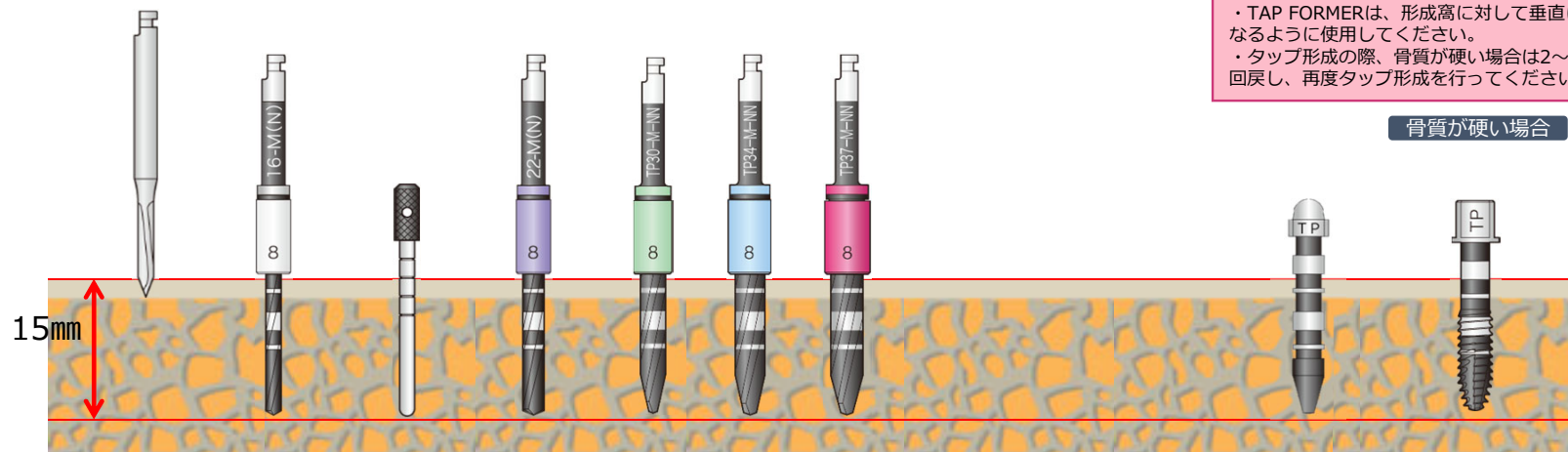
骨質が硬い場合

埋入径
φ37

骨内長
14mm

形状
TP

ストップ
#8
(ドリルM)



MARKING
BUR-M

PILOT
DRL
16-M

TRIAL
PIN
16-M

PILOT
DRL
22-M

30
TP-M

34
TP-M

FINAL DRL
37
TP-M

TRIAL
GUIDE
TP-37

TAP
FORMER
TP-37

注水下で800~1,200prm

注水下で800~1,200prm

注水下で800~1,200prm

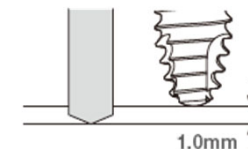
注水下で20prm

骨質が硬い場合

・TAP FORMERは、形成窩に対して垂直に
なるように使用してください。
・タップ形成の際、骨質が硬い場合は2~3
回戻し、再度タップ形成を行ってください。

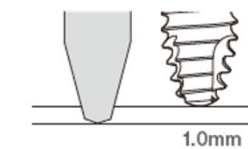
注意

1. 消耗したドリルは、発熱や不正確な高洞形成の原因になりますので使用しないでください。
2. パイロットドリルの刃長は、インプラント体よりも1.0mm長く設定されています。



3. 手術中の誤飲を防止するために、市販の誤飲防止用チューブや縫合糸をトライアルピン/ガイド頭部の孔に通して使用してください。デンタルX線撮影による確認を推奨します。

4. ファイナルドリルの刃長は、インプラント体よりも1.0mm長く設定されています。



5. ファイナルドリルは-NNタイプであることを確認してください。



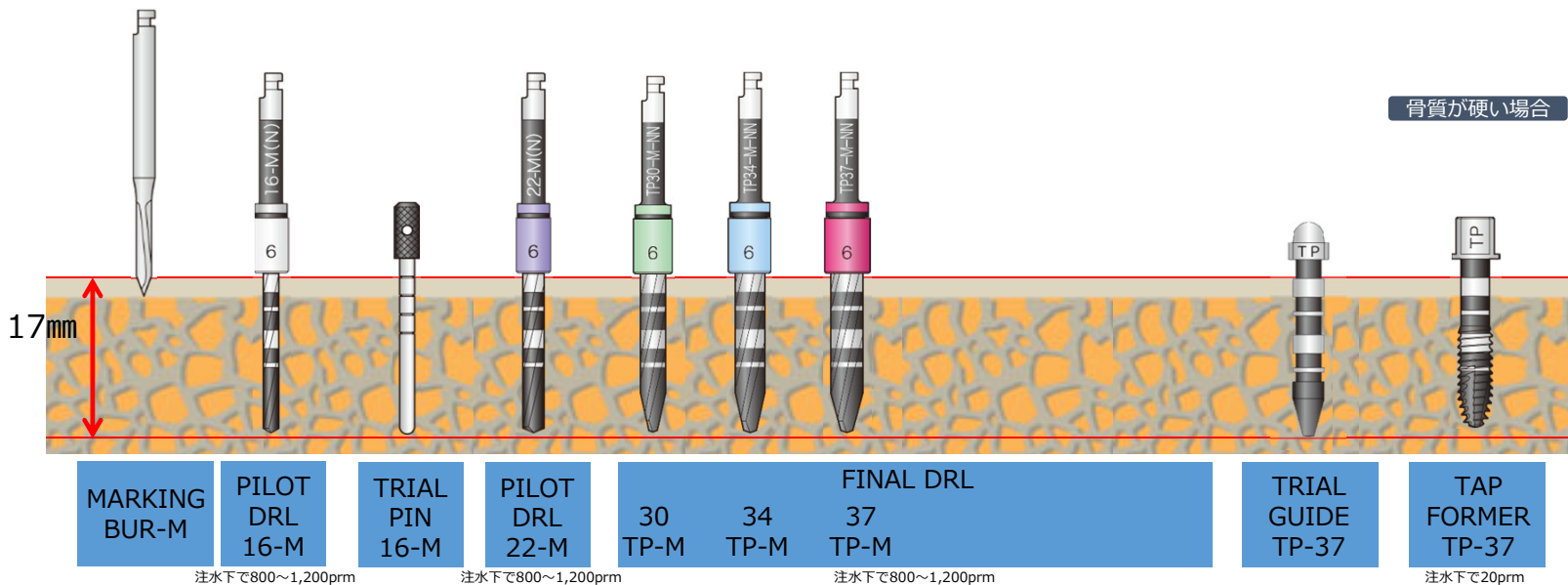
6. 骨質が固い場合は、タップフォーマーを使用してください。

埋入径
φ37

骨内長
16mm

形状
TP

スッパ-
#6
(ドリルM)



骨質が硬い場合

MARKING
BUR-M

PILOT
DRL
16-M

TRIAL
PIN
16-M

PILOT
DRL
22-M

30
TP-M

34
TP-M

FINAL DRL
37
TP-M

TRIAL
GUIDE
TP-37

TAP
FORMER
TP-37

注水下で800~1,200rpm

注水下で800~1,200rpm

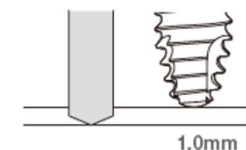
注水下で800~1,200rpm

注水下で20rpm

・TAP FORMERは、形成窩に対して垂直になるように使用してください。
・タップ形成の際、骨質が硬い場合は2~3回戻し、再度タップ形成を行ってください。

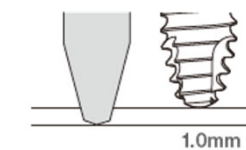
注意

1. 消耗したドリルは、発熱や不正確な窩形成の原因になりますので使用しないでください。
2. パイロットドリルの刃長は、インプラント体よりも1.0mm長く設定されています。

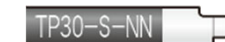


3. 手術中の誤飲を防止するために、市販の誤飲防止用チューブや縫合糸をトライアルピン/ガイド頭部の孔に通して使用してください。デンタルX線撮影による確認を推奨します。

4. ファイナルドリルの刃長は、インプラント体よりも1.0mm長く設定されています。



5. ファイナルドリルは-NNタイプであることを確認してください。



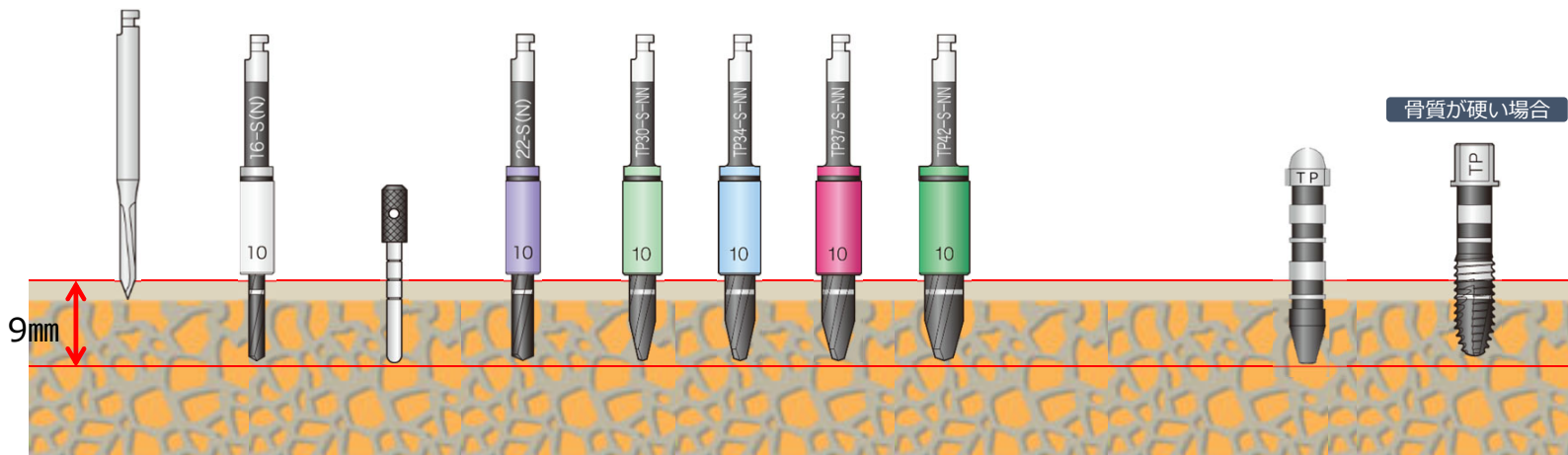
6. 骨質が固い場合は、タップフォーマーを使用してください。

埋入径
φ42

骨内長
8 mm

形状
TP

スッパ-
#10
(ドリルS)



MARKING
BUR-M

注水下で800~1,200prm

PILOT
DRL
16-S

注水下で800~1,200prm

TRIAL
PIN
16-S

PILOT
DRL
22-S

30
TP-S

34
TP-S

注水下で800~1,200prm

FINAL DRL
37
TP-S

42
TP-S

TRIAL
GUIDE
TP-42

注水下で20prm

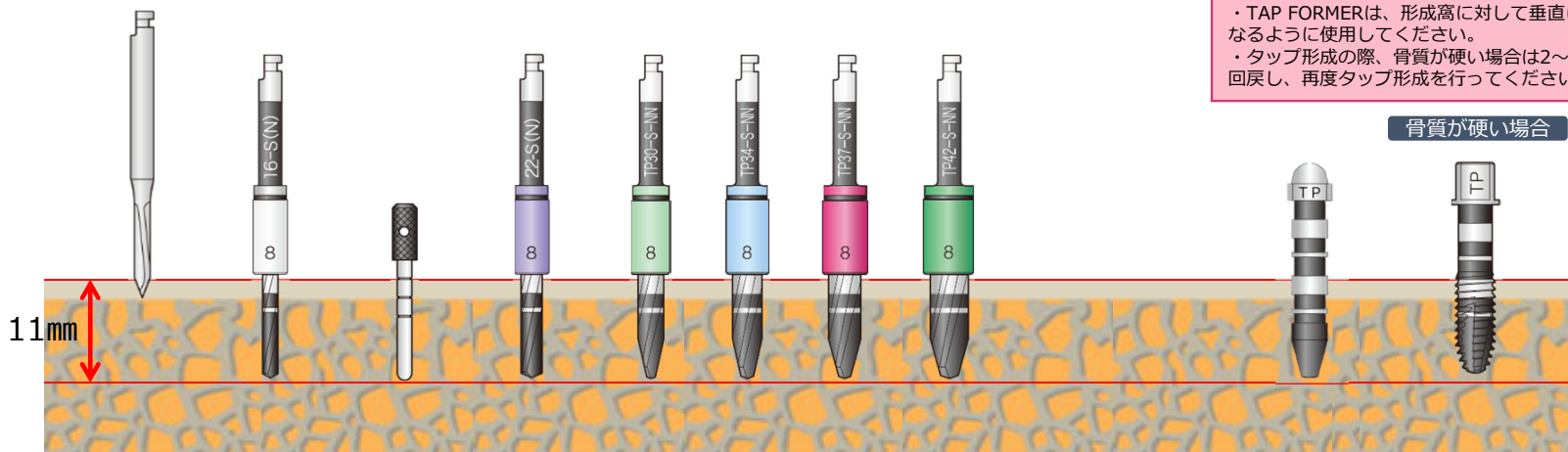
TAP
FORMER
TP-42

埋入径
φ42

骨内長
10mm

形状
TP

スッパ-
#8
(ドリルS)



MARKING
BUR-M

注水下で800~1,200prm

PILOT
DRL
16-S

注水下で800~1,200prm

TRIAL
PIN
16-S

PILOT
DRL
22-S

30
TP-S

34
TP-S

注水下で800~1,200prm

FINAL DRL
37
TP-S

42
TP-S

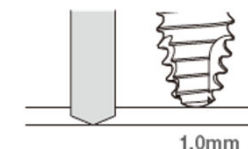
TRIAL
GUIDE
TP-42

注水下で20prm

TAP
FORMER
TP-42

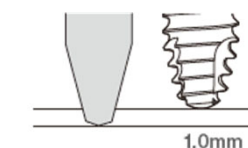
注意

1. 消耗したドリルは、発熱や不正確な窩形成の原因になりますので使用しないでください。
2. パイロットドリルの刃長は、インプラント体よりも1.0mm長く設定されています。



3. 手術中の誤飲を防止するために、市販の誤飲防止用チューブや縫合糸をトライアルピン/ガイド頭部の孔に通して使用してください。デンタルX線撮影による確認を推奨します。

4. ファイナルドリルの刃長は、インプラント体よりも1.0mm長く設定されています。



5. ファイナルドリルは-NNタイプであることを確認してください。



6. 骨質が固い場合は、タップフォーマーを使用してください。

・TAP FORMERは、形成窩に対して垂直に
なるように使用してください。
・タップ形成の際、骨質が硬い場合は2~3
回戻し、再度タップ形成を行ってください。

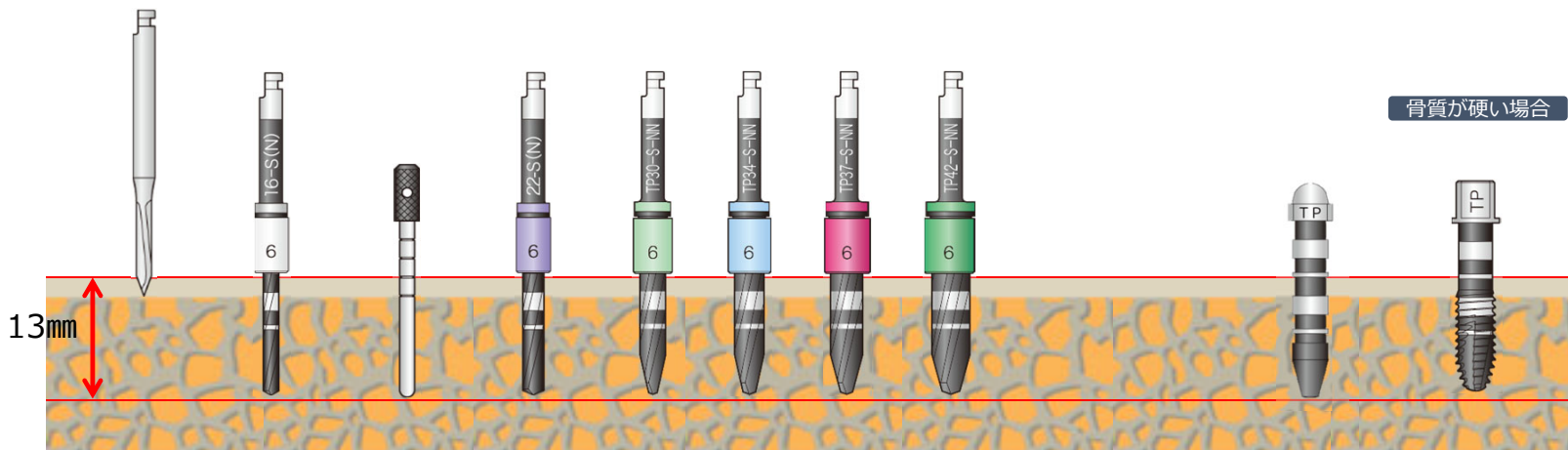
骨質が硬い場合

埋入径
φ42

骨内長
12mm

形状
TP

ストップ
#6
(ドリルス)



MARKING
BUR-M

PILOT
DRL
16-S

TRIAL
PIN
16-M

PILOT
DRL
22-S

30
TP-S

34
TP-S

FINAL DRL
37
TP-S

42
TP-S

TRIAL
GUIDE
TP-42

TAP
FORMER
TP-42

注水下で800~1,200prm

注水下で800~1,200prm

注水下で800~1,200prm

注水下で20prm

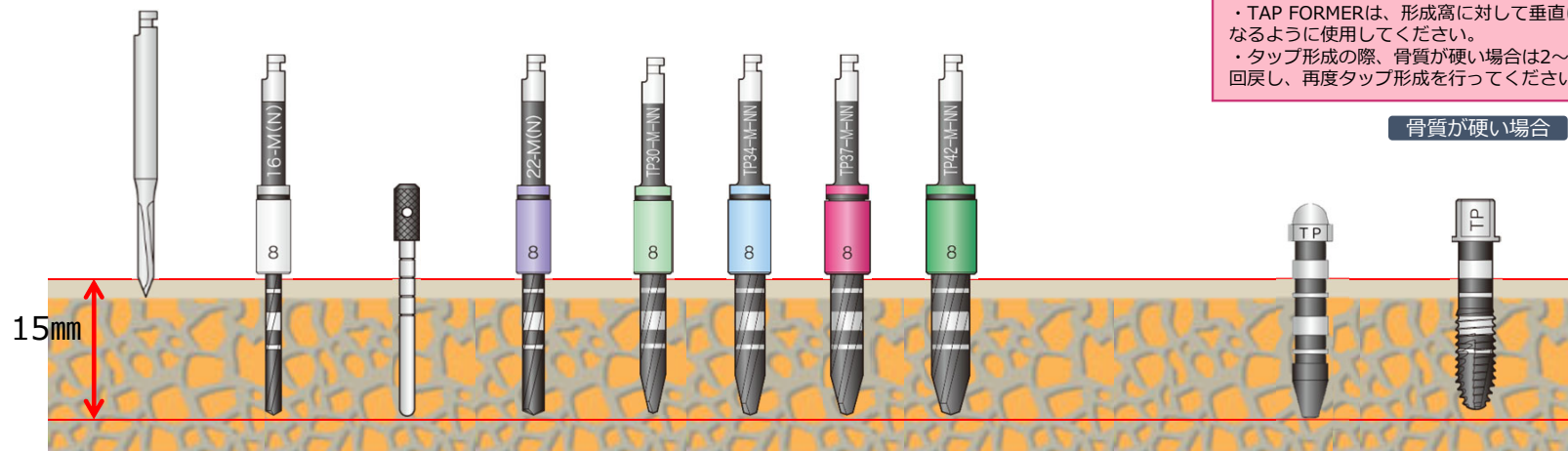
骨質が硬い場合

埋入径
φ42

骨内長
14mm

形状
TP

ストップ
#8
(ドリルM)



MARKING
BUR-M

PILOT
DRL
16-M

TRIAL
PIN
16-M

PILOT
DRL
22-M

30
TP-M

34
TP-M

FINAL DRL
37
TP-M

42
TP-M

TRIAL
GUIDE
TP-42

TAP
FORMER
TP-42

注水下で800~1,200prm

注水下で800~1,200prm

注水下で800~1,200prm

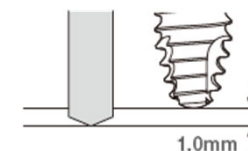
注水下で20prm

骨質が硬い場合

・TAP FORMERは、形成窩に対して垂直に
なるように使用してください。
・タップ形成の際、骨質が硬い場合は2~3
回戻し、再度タップ形成を行ってください。

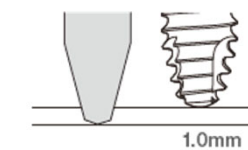
注意

1. 消耗したドリルは、発熱や不正確な高洞形成の原因になりますので使用しないでください。
2. パイロットドリルの刃長は、インプラント体よりも1.0mm長く設定されています。

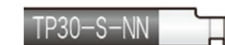


3. 手術中の誤飲を防止するために、市販の誤飲防止用チューブや縫合糸をトライアルピン/ガイド頭部の孔に通して使用してください。デンタルX線撮影による確認を推奨します。

4. ファイナルドリルの刃長は、インプラント体よりも1.0mm長く設定されています。



5. ファイナルドリルは-NNタイプであることを確認してください。



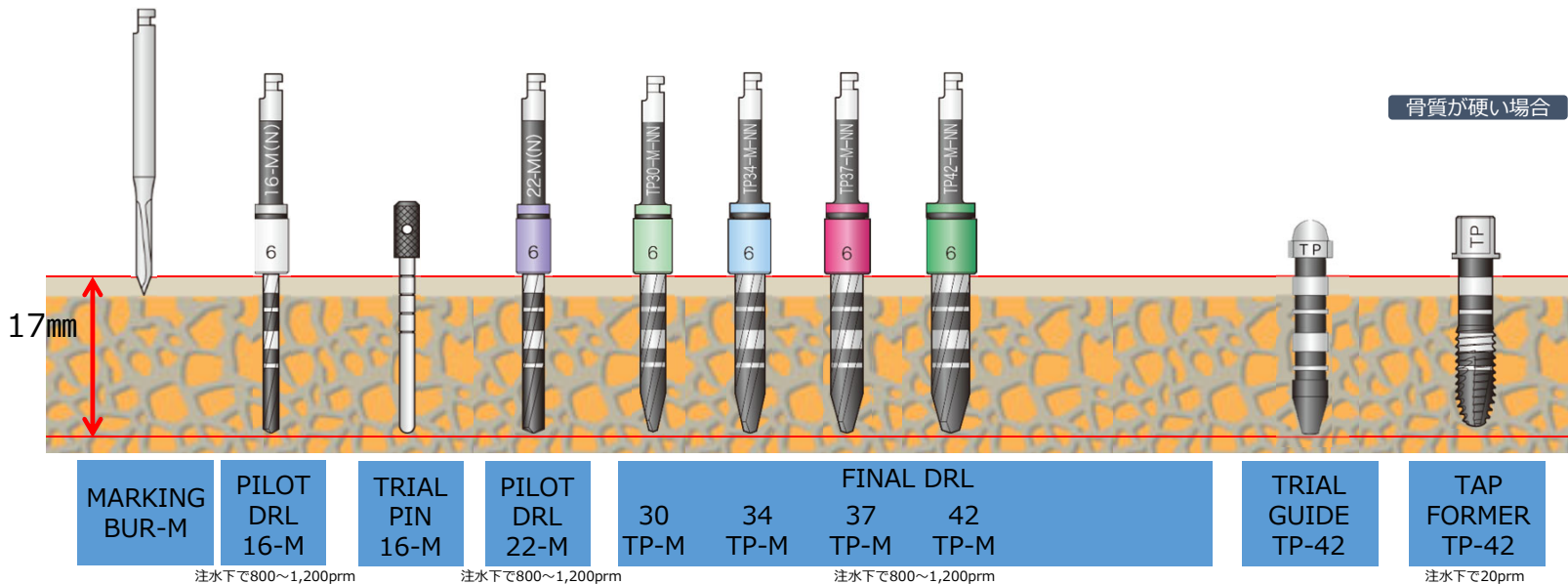
6. 骨質が固い場合は、タップフォーマーを使用してください。

埋入径
φ42

骨内長
16mm

形状
TP

スッパ-
#6
(ドリルM)



MARKING
BUR-M

PILOT
DRL
16-M

TRIAL
PIN
16-M

PILOT
DRL
22-M

30
TP-M

34
TP-M

FINAL DRL
37
TP-M

42
TP-M

TRIAL
GUIDE
TP-42

TAP
FORMER
TP-42

注水下で800~1,200prm

注水下で800~1,200prm

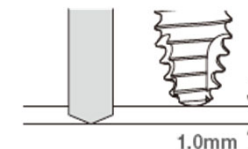
注水下で800~1,200prm

注水下で20prm

・TAP FORMERは、形成窩に対して垂直になるように使用してください。
・タップ形成の際、骨質が硬い場合は2~3回戻し、再度タップ形成を行ってください。

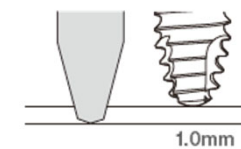
注意

1. 消耗したドリルは、発熱や不正確な高洞形成の原因になりますので使用しないでください。
2. パイロットドリルの刃長は、インプラント体よりも1.0mm長く設定されています。



3. 手術中の誤飲を防止するために、市販の誤飲防止用チューブや縫合糸をトライアルピン/ガイド頭部の孔に通して使用してください。デンタルX線撮影による確認を推奨します。

4. ファイナルドリルの刃長は、インプラント体よりも1.0mm長く設定されています。



5. ファイナルドリルは-NNタイプであることを確認してください。



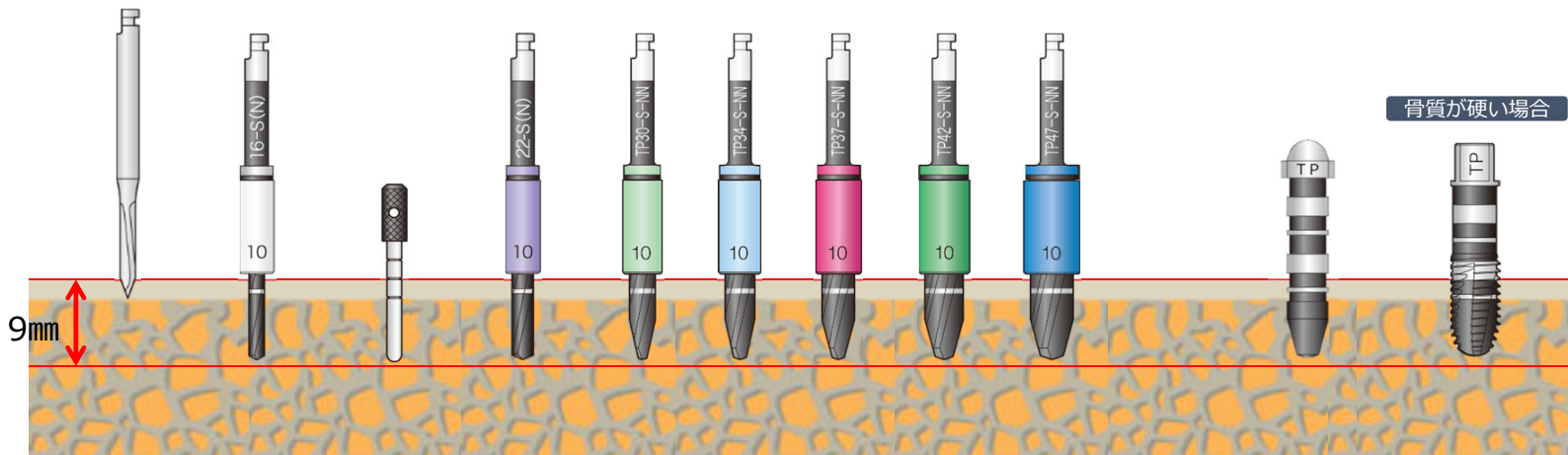
6. 骨質が固い場合は、タップフォーマーを使用してください。

埋入径
φ47

骨内長
8 mm

形状
TP

スッパ-
#10
(ドリルS)



MARKING
BUR-M

PILOT
DRL
16-S

TRIAL
PIN
16-S

PILOT
DRL
22-S

30
TP-S

34
TP-S

FINAL DRL
37
TP-S

42
TP-S

47
TP-S

TRIAL
GUIDE
TP-47

TAP
FORMER
TP-47

注水下で800~1,200rpm

注水下で800~1,200rpm

注水下で800~1,200rpm

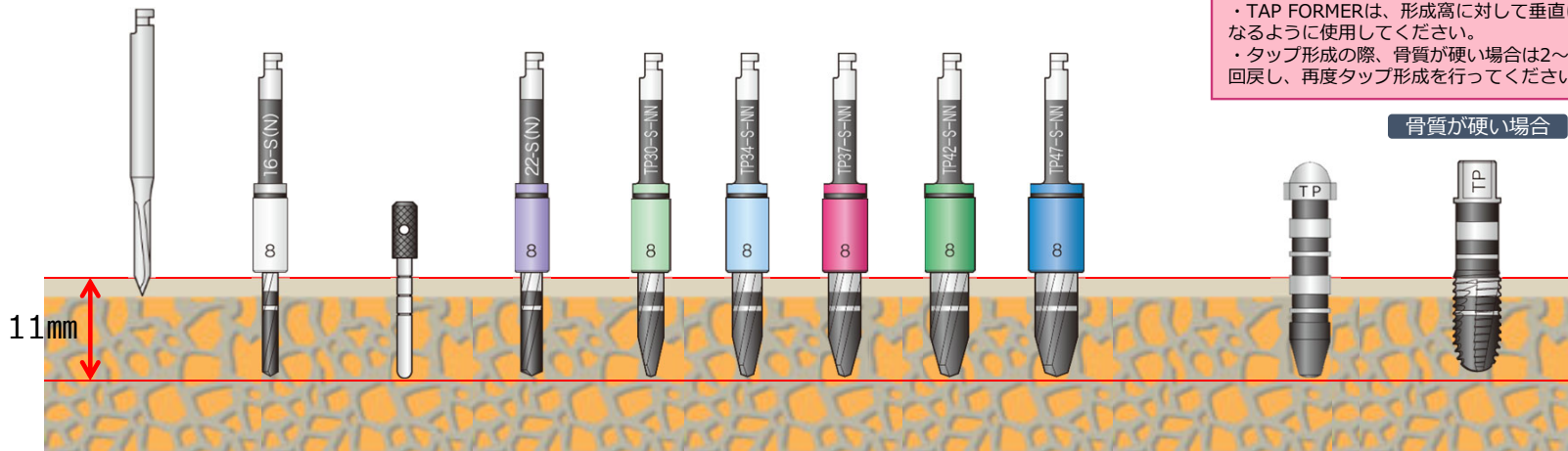
注水下で20rpm

埋入径
φ47

骨内長
10mm

形状
TP

スッパ-
#8
(ドリルS)



MARKING
BUR-M

PILOT
DRL
16-S

TRIAL
PIN
16-S

PILOT
DRL
22-S

30
TP-S

34
TP-S

FINAL DRL
37
TP-S

42
TP-S

47
TP-S

TRIAL
GUIDE
TP-47

TAP
FORMER
TP-47

注水下で800~1,200rpm

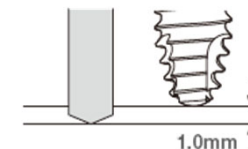
注水下で800~1,200rpm

注水下で800~1,200rpm

注水下で20rpm

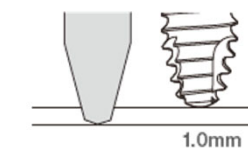
注意

1. 消耗したドリルは、発熱や不正確な高洞形成の原因になりますので使用しないでください。
2. パイロットドリルの刃長は、インプラント体よりも1.0mm長く設定されています。



3. 手術中の誤飲を防止するために、市販の誤飲防止用チューブや縫合糸をトライアルピン/ガイド頭部の孔に通して使用してください。デンタルX線撮影による確認を推奨します。

4. ファイナルドリルの刃長は、インプラント体よりも1.0mm長く設定されています。



5. ファイナルドリルは-NNタイプであることを確認してください。



6. 骨質が固い場合は、タップフォーマーを使用してください。

・TAP FORMERは、形成窩に対して垂直に
なるように使用してください。
・タップ形成の際、骨質が硬い場合は2~3
回戻し、再度タップ形成を行ってください。

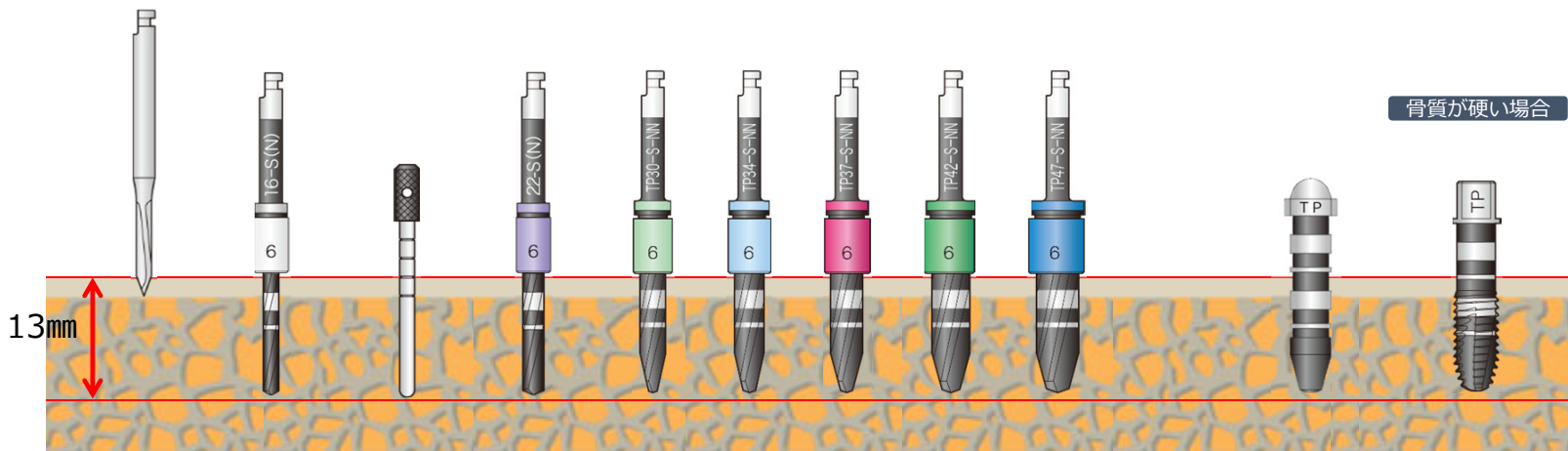
骨質が硬い場合

埋入径
φ47

骨内長
12mm

形状
TP

ストップ
#6
(ドリルS)



MARKING
BUR-M

PILOT
DRL
16-S

TRIAL
PIN
16-M

PILOT
DRL
22-S

FINAL DRL
30 TP-S 34 TP-S 37 TP-S 42 TP-S 47 TP-S

TRIAL
GUIDE
TP-47

TAP
FORMER
TP-47

注水下で800~1,200rpm

注水下で800~1,200rpm

注水下で800~1,200rpm

注水下で20rpm

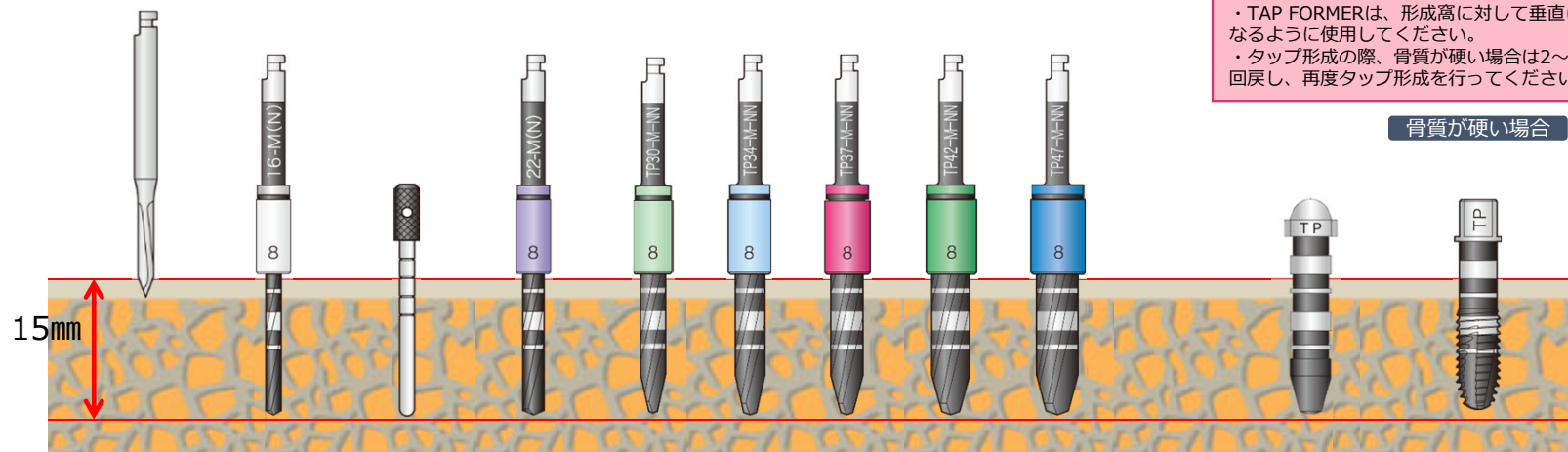
骨質が硬い場合

埋入径
φ47

骨内長
14mm

形状
TP

ストップ
#8
(ドリルM)



MARKING
BUR-M

PILOT
DRL
16-M

TRIAL
PIN
16-M

PILOT
DRL
22-M

FINAL DRL
30 TP-M 34 TP-M 37 TP-M 42 TP-M 47 TP-M

TRIAL
GUIDE
TP-47

TAP
FORMER
TP-47

注水下で800~1,200rpm

注水下で800~1,200rpm

注水下で800~1,200rpm

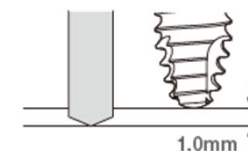
注水下で20rpm

骨質が硬い場合

・TAP FORMERは、形成窩に対して垂直に
なるように使用してください。
・タップ形成の際、骨質が硬い場合は2~3
回戻し、再度タップ形成を行ってください。

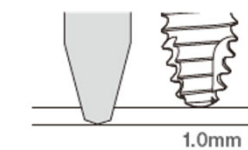
注意

1. 消耗したドリルは、発熱や不正確な高洞形成の原因になりますので使用しないでください。
2. パイロットドリルの刃長は、インプラント体よりも1.0mm長く設定されています。



3. 手術中の誤飲を防止するために、市販の誤飲防止用チューブや縫合糸をトライアルピン/ガイド頭部の孔に通して使用してください。デンタルX線撮影による確認を推奨します。

4. ファイナルドリルの刃長は、インプラント体よりも1.0mm長く設定されています。



5. ファイナルドリルは-NNタイプであることを確認してください。



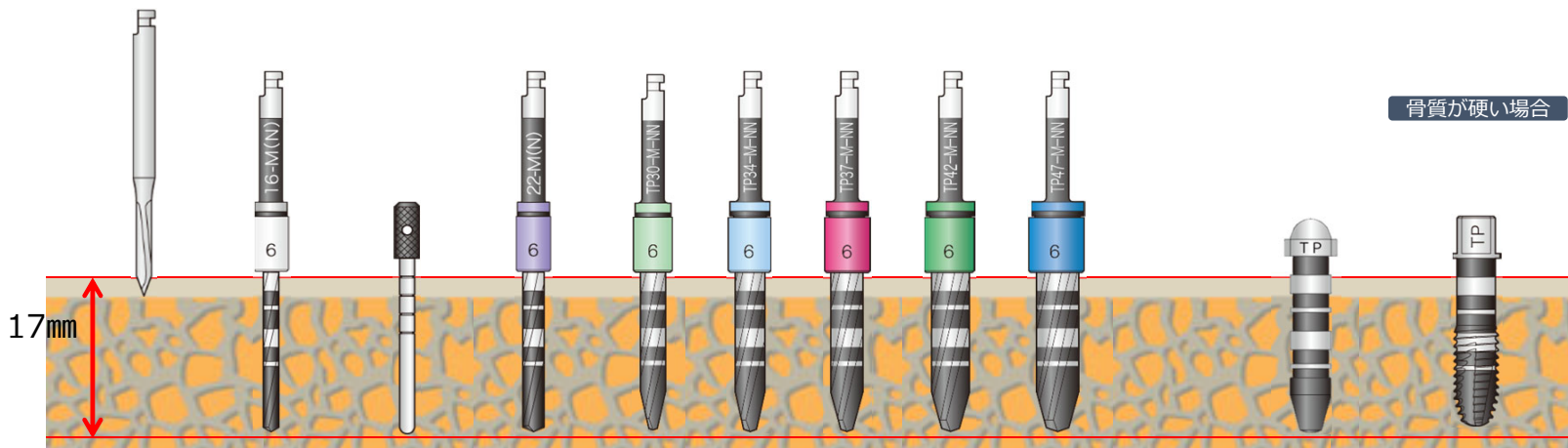
6. 骨質が固い場合は、タップフォーマーを使用してください。

埋入径
φ47

骨内長
16mm

形状
TP

スッパ-
#6
(ドリルM)



MARKING
BUR-M

注水下で800~1,200prm

PILOT
DRL
16-M

TRIAL
PIN
16-M

PILOT
DRL
22-M

30
TP-M

34
TP-M

FINAL DRL

37
TP-M

42
TP-M

47
TP-M

注水下で800~1,200prm

TRIAL
GUIDE
TP-47

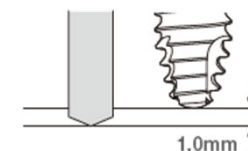
TAP
FORMER
TP-47

注水下で20prm

・TAP FORMERは、形成窩に対して垂直になるように使用してください。
・タップ形成の際、骨質が硬い場合は2~3回戻し、再度タップ形成を行ってください。

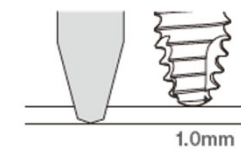
注意

1. 消耗したドリルは、発熱や不正確な高洞形成の原因になりますので使用しないでください。
2. パイロットドリルの刃長は、インプラント体よりも1.0mm長く設定されています。



3. 手術中の誤飲を防止するために、市販の誤飲防止用チューブや縫合糸をトライアルピン/ガイド頭部の孔に通して使用してください。デンタルX線撮影による確認を推奨します。

4. ファイナルドリルの刃長は、インプラント体よりも1.0mm長く設定されています。



5. ファイナルドリルは-NNタイプであることを確認してください。



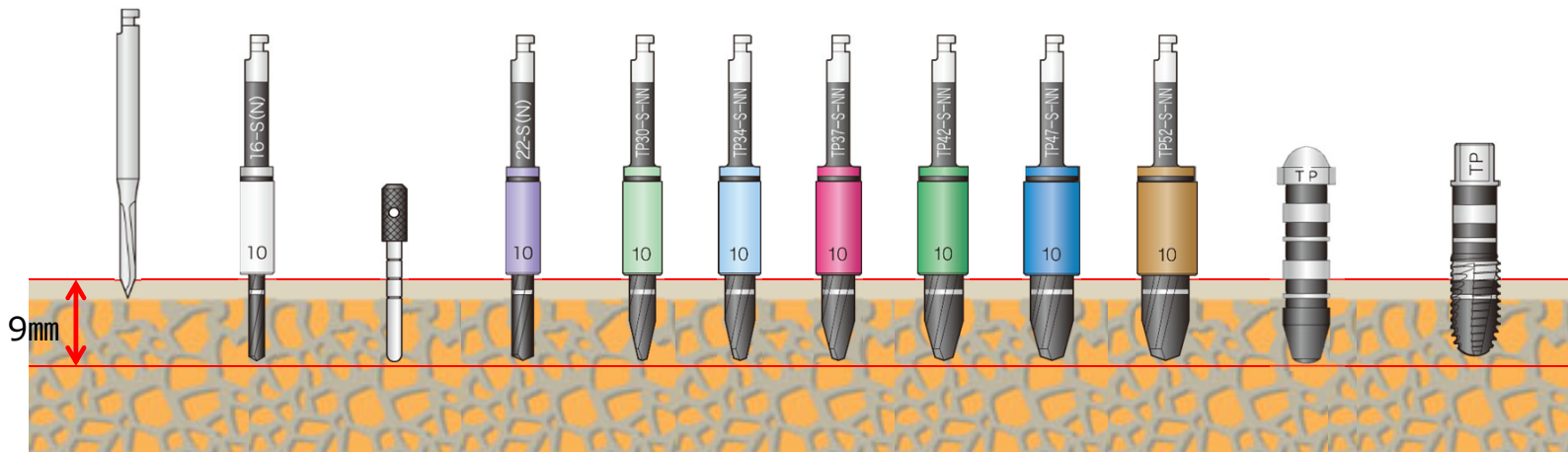
6. 骨質が固い場合は、タップフォーマーを使用してください。

埋入径
φ52

骨内長
8 mm

形状
TP

ストップ
#10
(ドリルス)



MARKING
BUR-M

PILOT
DRL
16-S

TRIAL
PIN
16-S

PILOT
DRL
22-S

30
TP-S

34
TP-S

37
TP-S

42
TP-S

47
TP-S

52
TP-S

TRIAL
GUIDE
TP-52

TAP
FORMER
TP-52

注水下で800~1,200prm

注水下で800~1,200prm

注水下で800~1,200prm

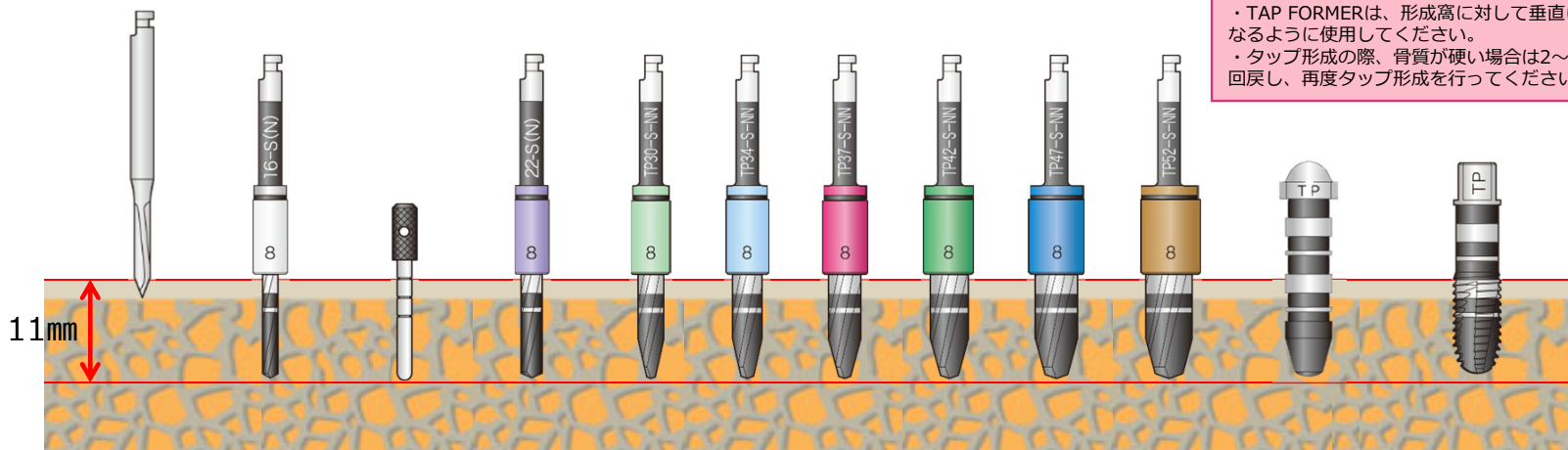
注水下で20prm

埋入径
φ52

骨内長
10mm

形状
TP

ストップ
#8
(ドリルス)



MARKING
BUR-M

PILOT
DRL
16-S

TRIAL
PIN
16-S

PILOT
DRL
22-S

30
TP-S

34
TP-S

37
TP-S

42
TP-S

47
TP-S

52
TP-S

TRIAL
GUIDE
TP-52

TAP
FORMER
TP-52

注水下で800~1,200prm

注水下で800~1,200prm

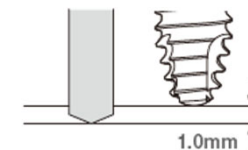
注水下で800~1,200prm

注水下で20prm

・TAP FORMERは、形成窩に対して垂直に
なるように使用してください。
・タップ形成の際、骨質が硬い場合は2~3
回戻し、再度タップ形成を行ってください。

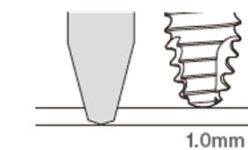
注意

1. 消耗したドリルは、発熱や不正確な窩形成の原因になりますので使用しないでください。
2. パイロットドリルの刃長は、インプラント体よりも1.0mm長く設定されています。



3. 手術中の誤飲を防止するために、市販の誤飲防止用チューブや縫合糸をトライアルピン/ガイド頭部の孔に通して使用してください。デンタルX線撮影による確認を推奨します。

4. ファイナルドリルの刃長は、インプラント体よりも1.0mm長く設定されています。



5. ファイナルドリルは-NNタイプであることを確認してください。

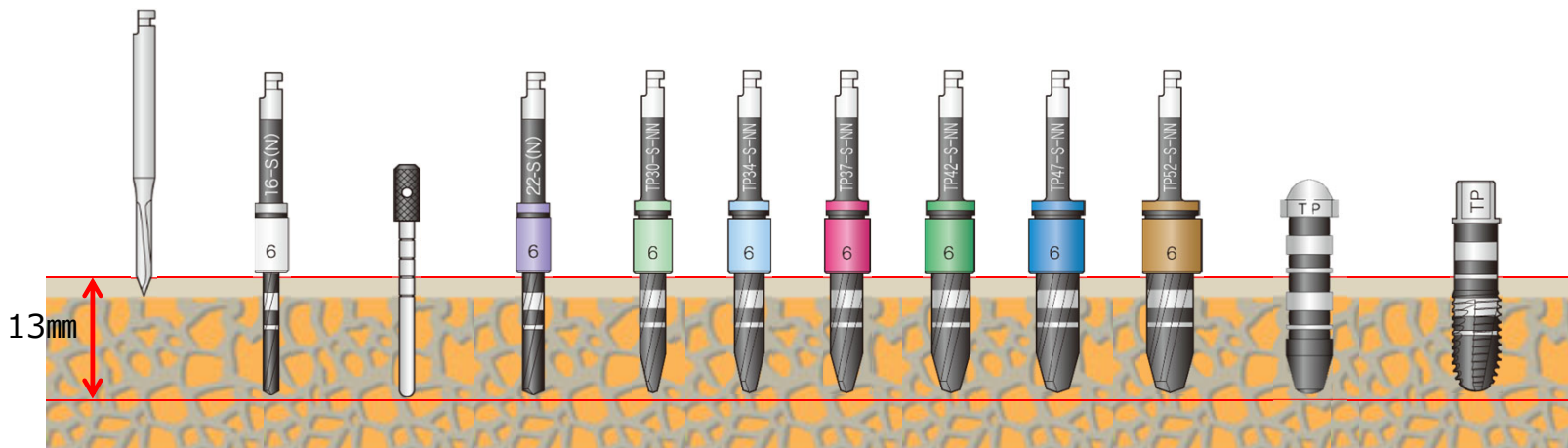
6. 直径5.2mmのインプラント体埋入時は、通常の骨質でも必ずタップフォーマーを使用してください。

埋入径
φ52

骨内長
12mm

形状
TP

ストップ
#6
(ドリルS)



MARKING
BUR-M

注水下で800~1,200rpm

PILOT
DRL
16-S

注水下で800~1,200rpm

TRIAL
PIN
16-M

PILOT
DRL
22-S

30
TP-S

34
TP-S

37
TP-S

42
TP-S

47
TP-S

52
TP-S

注水下で800~1,200rpm

FINAL DRL

TRIAL
GUIDE
TP-52

TAP
FORMER
TP-52

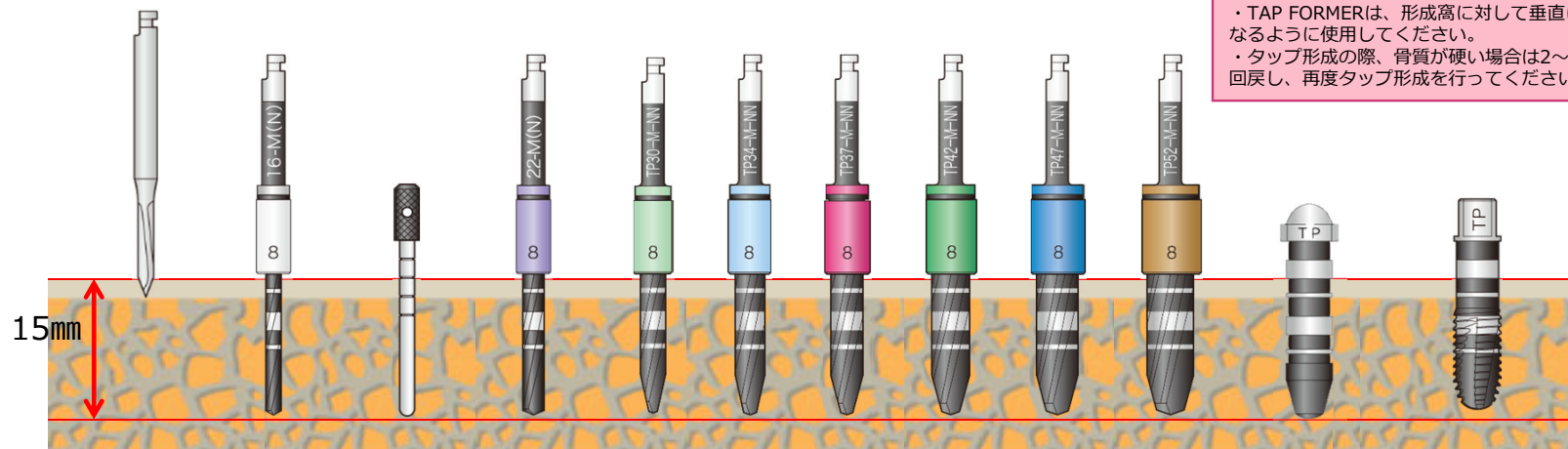
注水下で20rpm

埋入径
φ52

骨内長
14mm

形状
TP

ストップ
#8
(ドリルM)



MARKING
BUR-M

注水下で800~1,200rpm

PILOT
DRL
16-M

注水下で800~1,200rpm

TRIAL
PIN
16-M

PILOT
DRL
22-M

30
TP-M

34
TP-M

37
TP-M

42
TP-M

47
TP-M

52
TP-M

注水下で800~1,200rpm

FINAL DRL

TRIAL
GUIDE
TP-52

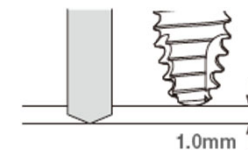
TAP
FORMER
TP-52

注水下で20rpm

・TAP FORMERは、形成窩に対して垂直に
なるように使用してください。
・タップ形成の際、骨質が硬い場合は2~3
回戻し、再度タップ形成を行ってください。

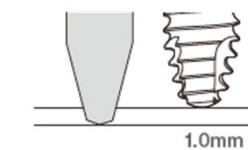
注意

1. 消耗したドリルは、発熱や不正確な窩形成の原因になりますので使用しないでください。
2. パイロットドリルの刃長は、インプラント体よりも1.0mm長く設定されています。



3. 手術中の誤飲を防止するために、市販の誤飲防止用チューブや縫合糸をトライアルピン/ガイド頭部の孔に通して使用してください。デンタルX線撮影による確認を推奨します。

4. ファイナルドリルの刃長は、インプラント体よりも1.0mm長く設定されています。



5. ファイナルドリルは-NNタイプであることを確認してください。



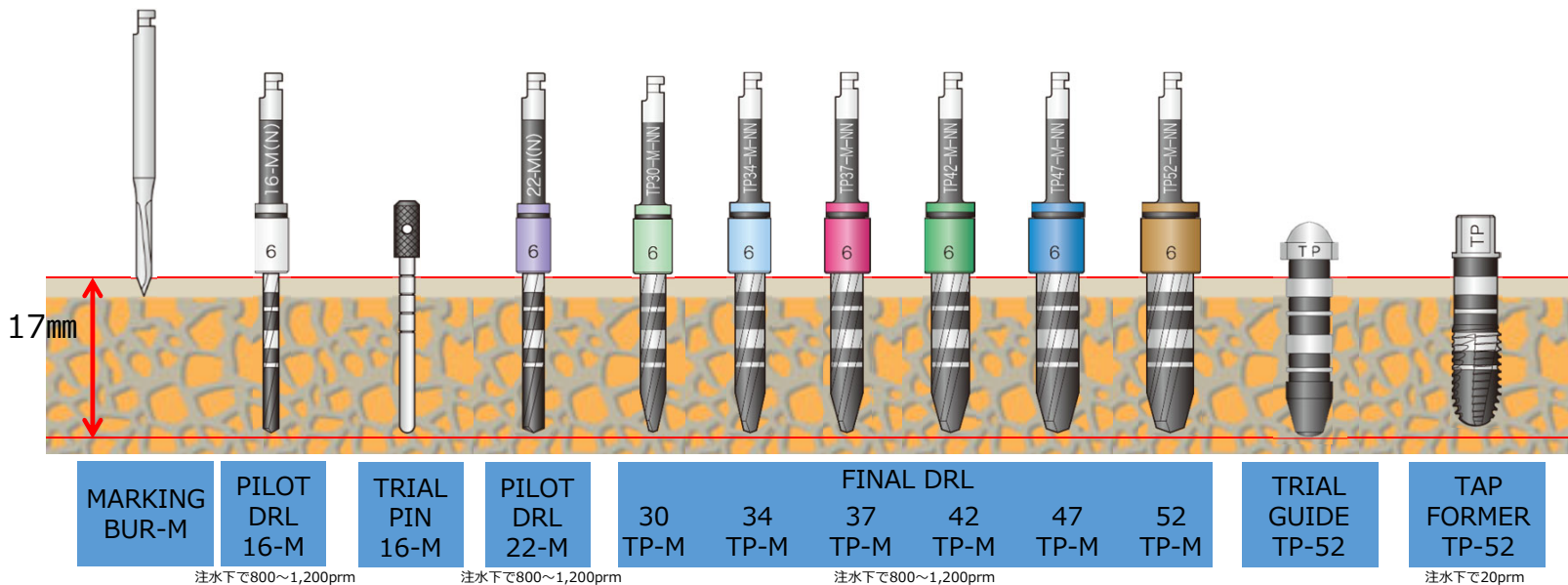
6. 直径5.2mmのインプラント体埋入時は、通常の骨質でも必ずタップフォーマーを使用してください。

埋入径
φ52

骨内長
16mm

形状
TP

スッパ-
#6
(ドリルM)



MARKING
BUR-M

PILOT
DRL
16-M

TRIAL
PIN
16-M

PILOT
DRL
22-M

30
TP-M

34
TP-M

FINAL DRL
37
TP-M

42
TP-M

47
TP-M

52
TP-M

TRIAL
GUIDE
TP-52

TAP
FORMER
TP-52

注水下で800~1,200prm

注水下で800~1,200prm

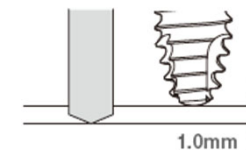
注水下で800~1,200prm

注水下で20prm

・TAP FORMERは、形成窩に対して垂直になるように使用してください。
・タップ形成の際、骨質が硬い場合は2~3回戻し、再度タップ形成を行ってください。

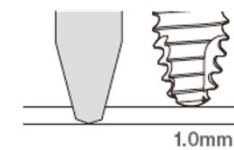
注意

1. 消耗したドリルは、発熱や不正確な窩形成の原因になりますので使用しないでください。
2. パイロットドリルの刃長は、インプラント体よりも1.0mm長く設定されています。



3. 手術中の誤飲を防止するために、市販の誤飲防止用チューブや縫合糸をトライアルピン/ガイド頭部の孔に通して使用してください。デンタルX線撮影による確認を推奨します。

4. ファイナルドリルの刃長は、インプラント体よりも1.0mm長く設定されています。



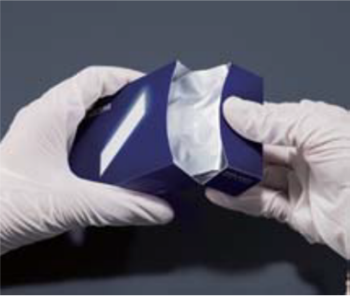
5. ファイナルドリルはNNタイプであることを確認してください。



6. 直径5.2mmのインプラント体埋入時は、通常の骨質でも必ずタップフォーマーを使用してください。

■ BLインプラントの埋入

1. 外箱からアルミバッグを取り出します。 2. 容器を清潔域に取り出します。



3. 容器の蓋を外します。



【マイクロモーターによる埋入手順】

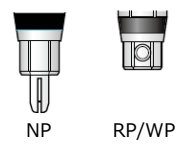
1. マイクロモーターに装着したインプラントドライバーCHをインプラント体に装着し、インプラント体をケースから取り出します。
2. マイクロモーターを用いてインプラント床にインプラント体の埋入を開始します。
3. インプラント体を20rpm以下の回転数で正回転させて最終位置まで埋入します。
※必要であれば、トルクレンチに変更し、埋入します。インプラントドライバーCHを取り外します。



インプラントドライバーCH

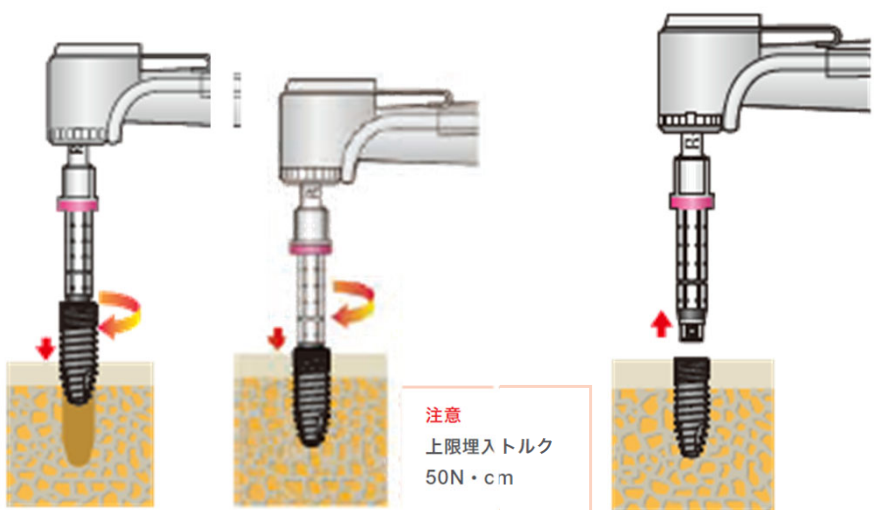


インプラントドライバー CHの先端



NP

RP/WP



注意
上限埋入トルク
50N・cm

参考 最終トルク調整、締結

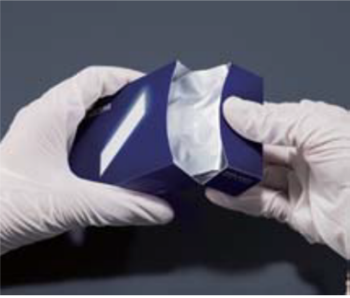
モーターで目的の埋入深度までインプラント体が埋入できない場合は、50N・cm以下で、FDアダプタとトルクレンチを使用して、適正位置まで埋入します。

注意

1. インプラントドライバーCHをインプラント体に装着する際は、奥までまっすぐに挿入してください。
2. FDアダプタは繰り返し使用によって、把持力が低下する場合があります。使用前にインプラントドライバーと組み合わせて、把持力が保たれているか確認してください。
※トルクレンチによる埋入時のみ
3. 埋入トルクが50N・cmを超える場合、インプラント体を一度抜き、タップフォーマーでタップ形成を行った後、再度インプラント体を埋入してください。
4. インプラント体植立後は適切な免荷期間を確保してください（下顎では3か月以上、上顎では6か月以上）。

■BLインプラントの埋入

1. 外箱からアルミバッグを取り出します。 2. 容器を清潔域に取り出します。

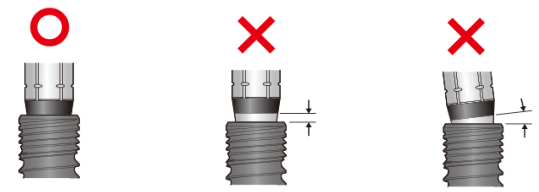


3. 容器の蓋を外します。



注意

1. インプラントドライバーCH をインプラント体に装着する際は、奥までまっすぐに挿入してください。



【マニュアルによる埋入手順】

- FD アダプタを用いてインプラントドライバーCHをインプラント体に装着し、インプラント体をケースから取り出します。
- FD アダプタを用いてインプラント床にインプラント体の埋入を開始します。
- インプラント体を正回転させて最終位置まで埋入します。インプラントドライバーCHを取り外します。

2. FD アダプタは繰り返し使用によって、把持力が低下する場合があります。使用前にインプラントドライバーと組み合わせて、把持力が保たれているか確認してください。

※トルクレンチによる埋入時のみ

3. 埋入トルクが50N・cm を超える場合、インプラント体を一度抜去し、タップフォーマーでタップ形成を行った後、再度インプラント体を埋入してください。

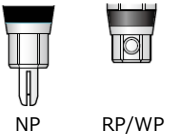
4. インプラント体植立後は適切な免荷期間を確保してください（下顎では3か月以上、上顎では6か月以上）。



FDアダプタ

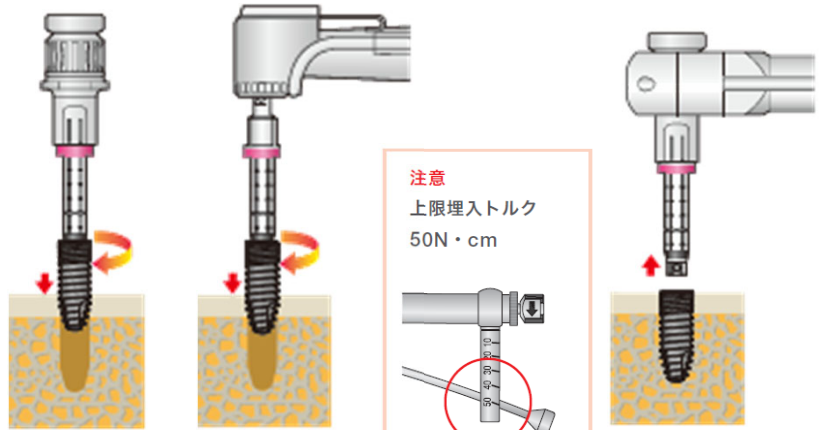
インプラント
ドライバーCH

インプラント
ドライバー CHの先端



NP

RP/WP



注意
上限埋入トルク
50N・cm

本術式チャートに記載されている製品は、下記の医療機器承認／届出番号を取得しています。

販売名	分類	一般的名称	承認 / 届出番号	クラス分類
FINESIA BLフィクスチャー BE	高度管理医療機器	歯科用インプラントフィクスチャ	30400BZX00158000	Ⅲ
FINESIAインプラント用手術器具	一般医療機器	歯科用インプラント手術器具	26B1X10012101122	Ⅰ
歯科用トルクレンチ	一般医療機器	手術用レンチ	26B1X10012108103	Ⅰ

製造販売元：京セラ株式会社